

## 【開催報告】定員超えの34名が参加！ サンガスタジアムで「第1回 京都府こども救命講習会」を開催

～医師・救急隊員らが連携し、幼稚園児から大人まで「命をつなぐ勇気」を学ぶ～

一般社団法人 京都こどもメディカルラリー協会（代表理事：二木 元典）は、2026年1月25日（日）、サンガスタジアム by KYOCERA（京都府亀岡市）にて「第1回 京都府こども救命講習会」を開催いたしました。

当日は、定員30名を上回る計34名（子ども19名、保護者15名）の方々にご参加いただき、盛況のうちに終了いたしました。



### ■開催のハイライト

**1. 地域の医療・消防が連携した手厚い指導体制** 本イベントの特徴は、指導者の専門性の高さです。当日は、亀岡市消防署・京都中部広域消防組合の救急救命士に加え、地域医療を支える**医師、看護師**らもインストラクターとして参加。会場内には**7つの実技ブース**を展開し、少人数制でプロが直接チェックを行うことで、「体験」にとどまらない確かな技術習得を目指しました。

**2. アニメ教材「ボジョレー君」と実践機材** 講義には、子どもたちの興味を惹きつけるDVD教材「ボジョレー君（※子どもにも分かりやすいアニメーション教材）」を使用。難しい理屈ではなく、映像のリズムに合わせて楽しく心肺蘇生法を学びました。実技では、亀岡消防署および蘇生会総合病院より借用した訓練用人形（レサシアン、リトルアンなど計7体）とAEDトレーナーを使用し、本番さながらの機材に触れることで、子どもたちも真剣な表情で取り組んでいました。

**3. 幅広い年齢層が参加** 参加者の約半数が小学校低学年以下となり、早期の防災・救命教育への関心の高さが伺えました。

- **参加者内訳**：小学生16名（1年～6年）、園児3名、保護者15名

#### ■参加者からの声（アンケートより抜粋）

- **子どもの声**
  - 「もし、たおれている人がいたら、今日みたいにやって、**必ず、その人を助けます！！**」（小学5年生）
  - 「今後AEDを使うことがおこってしまったら、**自信をもって心臓マッサージができるようがんばりたいです。**」（小学6年生）
  - 「とても勉強になりました。AEDの使い方が知れました。」（小学1年生）
- **保護者の声**
  - 「担当スタッフの方がついてもらったので、**不明な点や不安なことをその場で確認できたのが助かりました。**」
  - 「普段経験できないことなので、子供たちと一緒に体験できてよかったです。**街で倒れている人にあつた時、今日の学びを思い出して対応してほしいです。**」
  - 「以前講習を受けたことはあるが、しばらく経って忘れていたことも多く、定期的に思い出すことが必要だと感じました。」

#### ■今後の展望：2026年7月「京都こどもメディカルラリー」開催へ

当協会では、「子どもだからできない」ではなく「子どもだからこそできることがある」を理念に活動しています。今回の盛況を受け、今後は受入体制をさらに拡充してまいります。

また、**本年7月には、チームで救命技術を競い合う「京都こどもメディカルラリー」の開催に向けた準備を本格化させております。**詳細につきましては、決定次第、当協会の公式ウェブサイトにて順次お知らせいたします。

#### ■開催概要（終了）

- **名称**：第1回 京都府こども救命講習会
- **日時**：2026年1月25日（日） 10:00～11:30
- **場所**：サンガスタジアム by KYOCERA 会議室A
- **主催**：一般社団法人 京都こどもメディカルラリー協会
- **協力**：京都中部広域消防組合、亀岡市消防署、三条おかざきクリニック、今村医院、林真也クリニック、株式会社ダテ・メディカルサービス
- **後援**：京都府教育委員会、亀岡市教育委員会

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人 京都こどもメディカルラリー協会 URL：<https://kcmra.or.jp/> E-mail：[info@kcmra.or.jp](mailto:info@kcmra.or.jp)

---

※**メディア関係者様へ**：本イベントの様子（小さな子どもが医師や消防士から熱心に指導を受けている写真等）の高解像度画像をご用意しております。掲載をご検討いただける場合は、上記連絡先までお問い合わせください。